

岐大通 2008



絵：ひらっち

『ぎだいでおり』は、FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めて試合会場でお配りしています。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになってしまいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。

FC岐阜大好き通信(岐大通) / PSM号 編集発行：『岐大通』製作委員会 今号の製作担当：ささだたく & 吉田謙造

2008J2

■J1より降格：
サンフレッチェ広島
ヴァンフォーレ甲府
横浜FC

■昨年度J2
ベガルタ仙台
セレッソ大阪
湘南ベルマーレ
アビスパ福岡
サガン鳥栖
モンテディオ山形
愛媛FC
ザスパ草津
水戸ホーリーホック
徳島ヴォルティス

■JFLより加盟
ロアッソ熊本
FC岐阜

次回HomeGame

第2節
ベガルタ仙台戦
3/16(日) 13:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

ついにFC岐阜のJ2ホーム開幕
戦！みんなで応援に行こう！

投稿募集！

いよいよホーム開幕。
みんなで盛り上げよう。
意気込みを送ってください。

gidaidohri@hotmail.co.jp

お待ちしております！

PreSeasonMatch

名古屋グランパス 戦 2/24(日) 13:30~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ついに『J』の舞台で闘うFC岐阜。地元開催のプレシーズンマッチに迎えるのは名古屋グランパス。かつてはここ長良川競技場でホームゲームを開催したこともある。名古屋を率いるのはドラガン・ストイコビッチ。迎えるFC岐阜の“魂”、森山泰行もかつては名古屋のエースストライカー。隣県でもあり、なにかと縁の深い相手だ。

FC岐阜はJ1を相手にどこまで自分たちのサッカーが出来るか。Jの先輩の胸を借りて、そして「借りるだけじゃない」ところを見せようじゃないか。

today's guest - welcome to GIFU -

名古屋グランパス

1939年にトヨタ自動車工業サッカー部として創設。Jリーグには創設と同時に参加。今シーズンより呼称から「エイト」が取れた。J以降の主な獲得タイトルは、「天皇杯」1995年度・1999年度／「チャンピオンズ・ファイナル」1996年度。

◇2/11・ファン感謝イベント

先日11日に行われたファン感謝イベントに参加してきました。最初に全選手、監督以下スタッフの紹介の後、今西社長兼GMと松永監督の挨拶がありました。その後、選手が何人かごとのグループに分かれ、記念撮影会、サイン会が行われました。また会場の一角では選手の愛用品のチャリティーオークションコーナーや、選手が試合中口にする水の試飲コーナー、応援メッセージコーナーなどが設けられ、来る24日に開催されるプレシーズンマッチ名古屋グランパス戦のチケット販売や、シーズンチケットの先行販売受付なども行われました。グッズの販売コーナーもありました。最後に選手を代表して森山選手から挨拶があり、サポーターが「FC岐阜コール」をして、イベントはお開きとなりました。

決して派手な演出とかがあったわけではなく、またゲストとしてタレントや著名人を招いたわけでもありません。ですが、サイン会や写真撮影の時間が思ったよりも長く取られ、その分ファンやサポーターと選手達の触れ合う時間があったのではないかと思います。そういう意味では手作り感のあるイベントではなかったかと思えます。また、サインをしてもらったり写真を撮ってもらった子供達の嬉しそうな表情が印象に残りました。告知期間が短かった等の問題点はあったかもしれませんが、これは次回以降の開催の際に改善点として生かしてもらえればと思います。今はこういうイベントが開催されることに意義があると感じます。PSM、またリーグ戦開幕に向けてまたワクワク感が増してきました。

(リベロ)

◇今年のFC岐阜に向けて

●今年はチームとして、またクラブとして、J2を1年通して戦うことで得られる経験値を確実に体力にしていかななくてはいけないシーズンになると思えます。正直、成績的には厳しい現実を突きつけられるかも知れません。しかしながら、その大前提として「きちんとしたサッカーを見せる」ということを最後まで貫き通して欲しいですし、そこを忘れてしまえば客は離れていってしまうでしょう。また、今西GMや森山選手が「感動を与えるプレーを」「最後まで諦めずに戦う」と言っていますが、それをピッチに立つ選手たちがプレーでちゃんと表現していくことが、今季一番の課題であり、実質的にはまだプロクラブとは言い難いFC岐阜にとって、名実共にプロクラブとして認められる唯一の方法ではないでしょうか。勝ち負けだけでは語れないサッカーの魅力や醍醐味といったものを、今季はプレーで示して欲しいと思います。(うすしお)

◇さあPSM名古屋戦

●岐阜から名古屋に通勤している僕にとって、電車の中で30分ほどの時間は重要だ。主に音楽を聴いたり、雑誌を読んだり、仮眠したりととにかくリラックスできるひとときなのだが、最近になって「今日のプレシーズンマッチの中吊広告はぶら下がっていないか？」と、そわそわしながら車内中を見渡すようになってしまった。そして迎えた今日。いよいよ名古屋と対戦する。今日は力の限り我がFC岐阜を応援しよう。そして明日からはまた電車の中でリラックスタイムを満喫しようと思う。(ST57)

●「岐阜vs名古屋」。岐阜の人々にとっては、実に複雑な意味や想い、そして歴史を感じさせる言葉ではないでしょうか。同様に「森山泰行のいるFC岐阜が、ストイコビッチのいる名古屋グランパスとメモリアルで対戦する」という言葉も、実に複雑な想いを僕たちサポに抱かせます。正に、因縁浅からぬ対戦です。今回はPSMですから、真剣勝負とはいかないでしょう。お互い開幕に向けての調整の側面が強いかもしれませんが。実力差は言わずもがな。それでも、やっぱり勝ちたい。これから幾度となく真剣勝負を繰り広げ、「アイツにだけは絶対勝ちたい」と激しく競い合う「ダービー」の記念すべき初戦に参加できることを、心から感謝します。(ささたく)

●新しいシーズンを迎える前の、最初で最後のPSM。トレーニングマッチではなく、有料試合をJ1のクラブと行う。しかも、僕らのクラブがJの一員として、ホーム・長良川で開催するというこの意味。去年、JFLで戦っていた時には考えもしなかった状況で、いったいどう表現したらいいんだろう？しかも、相手が名古屋なのだ。ほかの方はいざ知らず、J創設のときから名古屋をひいきにしてきた僕にとって、歓喜よりも茫然とした困惑するカードの実現。いつかは来ると思っていたその日が、こうもいきなりやってくるとは.....

名古屋も以前は長良川が準ホーム。最後にここで試合をしたのは、2003年の天皇杯。相手はヴェルディ。近年まれに見る降雪。試合開始が2時間遅れたうえに、後半からまた大雪になり、観客が雪だるま化していくような、とんでもない試合。覚えているのは、水墨画のような金華山と岐阜城。除雪のためにピッチに入った軽トラ。それと後半から使用したカラーボール。再び降り積もった雪との区別をつけるための投入だったと思うが、オレンジ色のそれはしばらく選手に蹴られていたものの、あまりの寒さに割れちゃったんじゃないかな。大急ぎで次のカラーボールが用意されたはずだけど、今から思えばよく予備のボールがあったよね。そういえば、あれ以来カラーボールの試合を、ライブで見たことがない。ウチには森山の他にも名古屋に在籍していた選手がいるけれど、Jをココでやっていた前世紀末頃は、リュージが高校生、淳至や深津は中学生くらいかな？うちの10番は、僕が観てた試合をスタジアムで観ていたかもしれない。その10番が名古屋と戦う姿を、今日僕は観る。キックオフが楽しみでしかたがない。

今年で16年目のJリーグ。昔を知ってる人も知らない人も、長良川競技場をホームとするのは、未来永劫我らがFC岐阜のみ！
さあ！新しいシーズンが始まるよ！！(ぐん、)

試合前の腹ごしらえも、試合後の感想戦も、岐阜駅すぐ前・グランパレホテル東側隣の『博多ラーメン・びったれ家』だ！
2/24と2/25、このMDP持参の方に生(小)1杯サービスかラーメン200円引き！